

私大図協・東・研・2017-33

2017年10月20日

私立大学図書館協会
東地区部会
加盟大学図書館長 殿

私立大学図書館協会
東地区部会研究部担当理事校
成城大学図書館
館長 山本 輝之
[公印省略]

2017年度 研究分科会報告大会開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より私立大学図書館協会東地区部会の活動にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、このたび標記研究分科会報告大会を下記のとおり開催することになりました。この研究分科会報告大会は、5研究分科会による2年間（2016～2017年度）の調査研究成果と、研修分科会による1年間（2017年度）の研修成果を発表する場となっております。

つきましては、館務ご繁忙のところ誠に恐縮ですが、貴館職員の参加につきましてご高配を賜りたく、よろしく願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2017年12月14日（木） 9：50～16：45（受付開始 9：30）
2. 定 員 100名
3. 会 場 慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール
所在地 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>
4. 申込方法 参加ご希望の方は、下記の専用サイトからお申し込みください。
(研究分科会報告大会発表者及び機器操作者・分科会代表者は除く)
http://www.jaspul.org/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=report_2017

注意事項

- (1) 申込締切は11月24日（金）です。

- (2) 申し込まれた方には、受付完了メールが自動返信されます。メールが届かない場合は事務局までお問い合わせください。
- (3) 参加できない事情が生じた場合は、速やかに事務局へご連絡ください。
- (4) 定員超過でご辞退をお願いする場合のみ、11月30日（木）までにお申し込みいただいたメールアドレスへご連絡いたします。
- (5) 報告大会での議論、アンケートの内容及び記録写真については、主催者側が作成する報告書、広報資料、研究報告、ホームページ等に使用する場合がありますので、ご了承ください。
- (6) ご提供いただいた個人情報は、当報告大会の実施に関する連絡等に利用し、他の目的で使用することはありません（但し、法令等により提供を求められた場合を除きます）。

5. 発表概要（発表時間）

【分類研究分科会】（10:00～10:45）

分類法における主題のとらえ方

ーツールとしての活用についてー

（研究発表要旨）

今期の研究では、NDC10版のツールとしての使いやすさという視点から、主題のとらえ方についての考察を続けてきた。具体的には注記の記述内容に焦点を当てている。まず、注記の種類を6つに分け、それぞれの機能について確認した。そして、そのなかから参照指示の「～を見よ」に着目し分析を行った。

発表者：鈴木 学（日本女子大学）

【パブリック・サービス研究分科会】（10:50～11:35）

学生協働の現状と課題

ー『「学生協働のマネジメント」に関するアンケート調査』からみえてきたことー

（研究発表要旨）

2017年5月から6月にかけて実施した「学生協働のマネジメント」に関するアンケート調査に基づき、学生協働の実施状況、実施内容、学生数、予算、実施館数の推移、課題意識等について、考察を交えながら発表します。
また、アンケート結果を踏まえた、図書館総合展でのポスター展示の様子も紹介します。

発表者：常盤 哲平（文教大学） 太田 潤（明星大学） 山本 美智恵（日本体育大学）

【西洋古版本研究分科会】 (13:00～13:45)

大学図書館における「西洋古版本」に関する調査から見えてくること
－2017年アンケート調査結果報告－

(研究発表要旨)

全国の国公立大学を対象に、大学図書館における西洋古版本とそれに関わる図書館職員の実態について、アンケート調査を行いました。その結果、専門知識・人材・予算の不足、保存環境の不備といった課題が明らかになりました。課題解決のためには、図書館が連携し、知識やノウハウを共有する仕組みが必要であることがわかりました。

発表者：ティムソン ジョウナス（早稲田大学） 阿部 伊作（東京基督教大学）

【和漢古典籍研究分科会】 (13:50～14:35)

「刊記を疑う」

－校合調査に基づく刊年・印行年の推定－

(研究発表要旨)

和漢古典籍資料では「刊・印・修」の区別が重要になるが、資料を1点見ただけでそれらを判断することは難しい。本調査では、会員校に複数所蔵のある資料を用い、校合によって刊行年・印行年の推定を試みた。刊記の有無にかかわらず、刊年推定時には書物の綿密な調査と他伝本との校合が重要であり、時には刊記の記載年次を疑うことも必要となる。

発表者：松下 賢（駒澤大学） 高島 みなみ（成城大学） 八木 彩香（中央大学）
堀 はな恵（鶴見大学） 小此木 敏明（立正大学） 藤 順一（早稲田大学）

【レファレンス研究分科会】 (15:00～15:45)

質問相談サービスの提供方法に関する調査の結果

(研究発表要旨)

レファレンス研究分科会では、多様化する質問相談サービスの提供方法を明らかにするため、2017年5月～6月にかけて、日本国内の大学図書館1,070館に対して質問紙調査を実施し、レファレンスカウンター以外も含めた質問相談対応窓口の設置状況と、インターネットを利用した質問相談対応について調査した。今回は、本調査結果の概要を報告する。

発表者：長谷川 敦史（早稲田大学） 鈴木 学（日本女子大学） 根本 杏奈（立教大学）

【研修分科会】 (15:50~16:35)

2017年度研修分科会活動報告

(研究発表要旨)

今年度開催された研修分科会の概要を報告すると共に、参加会員自らが研修で得られた知見を自身の業務にどう活かせたかなどについてもご紹介します。また、広い視点から大学図書館の現状について考察を行います。

第1回 大学図書館の役割 (アクティブラーニング)

第2回 情報リテラシー

第3回 夏季見学ツアー (テーマ: 本との出会い・発見を演出する)

第4回 機関リポジトリを知る

第5回 レファレンス

発表者: 名取 千沙 (共立女子大学) 武藤 郁子 (青山学院大学)
近藤 倫史 (城西大学)

6. 問い合わせ 私立大学図書館協会東地区部会研究部担当理事校
成城大学図書館 (担当: 新井・吉田)
〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20
E-mail: eastlib@seijo.ac.jp
Tel: 03-3482-3555 Fax: 03-3482-7221

以上